

## 東京丸の内ロータリークラブ

### 第23回 例会議事録 創立一周年記念例会

2019年 3月 6日(水)夜例会

会場 センチュリーコート丸の内  
アカンサスノース・サウス・ルーム

## ① プログラム

- ◆ 司会進行 古山真紀子会員
- ◆ 開会点鐘 尾崎由比子会長
- ◆ ロータリーソング(奉仕の理想)  
ソングリーダー 久保田佳代会員
- ◆ 開会点鐘 尾崎由比子会長
- ◆ 会長挨拶(後掲) 尾崎由比子会長
  
- ◆ ご来賓・新会員紹介(塩島幹事)
  
- ・ご来賓(ビジター):  
松坂 順一 様(ガバナー、東京葛飾東 RC)  
吉田 建二 様(パストガバナー、東京田無 RC)  
鈴木 孝雄 様(パストガバナー、東京池袋 RC)  
上山 昭治 様(パストガバナー、  
東京武蔵野中央 RC)  
吉田 雅俊 様(直前ガバナー、東京新都心 RC)  
鈴木 隆雄 様(ガバナー補佐、東京江東 RC)  
土居 岩生 様(地区研修サブリーダー、  
東京お茶の水 RC)  
佐藤 文則 様(地区副幹事、東京四谷 RC)

牛島 聡 様(新クラブアドバイザー、直前会長、  
東京お茶の水 RC)  
青木 隆幸 様(直前幹事、東京お茶の水 RC)  
奥山 聡 様(会長、東京お茶の水 RC)  
山下 憲男 様(幹事、東京お茶の水 RC)  
須永 陽子 様(事務局、東京お茶の水 RC)

#### ・新会員紹介

##### 【8月入会】

藪口 真太郎(ラッキー工芸株式会社、専務取締役、  
屋内・屋外看板設計施工)

##### 【10月入会】

今井 菜美子(書家)

##### 【2月入会】

松瀬 雅子(松瀬司法書士事務所、司法書士)

白石 小百合(Whitte 株式会社、代表取締役 CEO、  
アナウンサー)

##### 【3月入会予定】

堀江 智生(株式会社 Japan Asset Management  
代表取締役、資産運用・証券)

#### ◆ ニコニコ報告(古山真紀子会員)

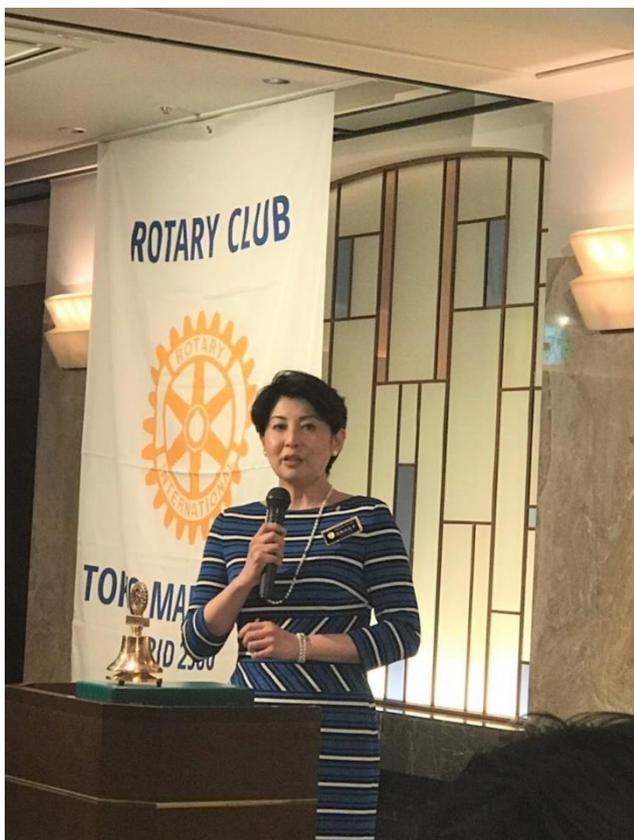
- ・上山 昭治 パストガバナー(東京武蔵野中央 RC)  
「創立一周年おめでとうございます。本日卓話を  
させていただきます」
- ・土居 岩生 研修サブリーダー(東京お茶の水 RC)  
「2018.2.26 の認証日から1年過ぎましたネ。こ  
れから問題は多々有ると思いますが、明るく進  
みましよう。奉仕の理念を念頭に」
- ・青木 隆幸 直前幹事(東京お茶の水 RC)  
「本日は一周年おめでとうございます」  
〈ニコニコ累計 1,260,000 円〉

## ② 会長報告 尾崎会長

本日は大変お忙しい中、東京丸の内 RC 一周年記

念例会・食事会にご参加くださいます、どうもありがとうございます。

本日は、特にお世話になりました皆様と、会員とで、アットホームな雰囲気の中、激動の2年間を思い出しながらお時間を過ごさせていただけること、大変光栄に思っております。



東京丸の内 RC は2017年7月24日に創立し、昨年の2月26日、吉田雅俊ガバナーのもとに国際ロータリー2580地区の70番目のクラブとして加盟認証をいただきました。

一昨年の7月24日の創立日は、私と嘉納会長ノミニーが正式に吉田建二PG、鈴木孝雄PG、上山PG、研修副リーダーの土居様と会し、新クラブ発足に向けて第1歩を踏み出した記念の日です。そして8月28日には、当時の吉田雅俊ガバナーに「東京丸の内」のクラブ名をご承認いただき、正式に準備に入りました。

それからというもの、拡大増強委員長の上山PG、研修リーダーの吉田PG、副リーダーの土居様、鈴木孝雄様には毎回のよう

に例会にご参加くださり、

会員はロータリーについて学びながら、発足の準備を進めて参りました。

その間、鈴木孝雄PG、松坂G、本日ご欠席の新本ガバナーエレクト、にもお越しいただきご指導を賜りました。

加盟認証状伝達式に向けては、地区副幹事の佐藤様、本日ご欠席の横山様、そしてスポンサークラブの東京お茶の水RC様には格別のご支援を賜り、5月28日には東京ステーションホテルにて無事に温かい式典を行い、クラブとしての活動をスタートすることが出来ました。

皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

東京丸の内 RC は奉仕活動に意欲を持った会員が集まり発足しましたが、ロータリアンとしてまだまだ不慣れです。

そのような私達を日々支え続けてくださっている牛島アドバイザーには会員一同心より感謝しております。改めて御礼を申し上げたいと思います、どうもありがとうございます。そして引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

また、細かい事務手続きについても親切にご指導してくださるお茶の水RCの事務局の須永様にも日々感謝しております、ありがとうございます。

東京丸の内RCの奉仕活動としましては、東京ヴェルディOBの渡邊会員のご紹介でサッカーを通じて障害や難病と闘う方、そのご家族の方に選手と触れ合えるイベント「サイレントフット チャレンジド・マッチDAY」にプロジェクトスポンサーとして協賛、また、西日本豪雨災害の際は藤本会員の発案で災害救助犬の支援を早々に行いました。

また、会員の専門性を活かした「心のバリアフリーチャリティセミナー」も2回実施しております。第1回は竹之内会員、嘉納会長ノミニーによる「障害者雇用」、第2回は久保田会員、塩島幹事による「心と身体の健康」についてで、それぞれ講師推薦

の団体に寄付も致しました。

クラブの安定的成長を図るためにも新会員をサポートするフォローアッププログラムを独自に作成、対外的には軽井沢 RC と友好クラブになりました。

今後の国際奉仕として、竹之内会員のご紹介により、パキスタンの女性の識字率向上についても支援をスタートしています。

まだクラブとしての体力・経験が未熟な東京丸の内 RC ですが、会員の発想力、行動力を大切に、会員がロータリー活動を楽しんでもらえるように会長として引き続き尽力して参ります。皆様には引き続きご指導、ご支援をお願い申し上げます。

---

### ③ 記念卓話

パストガバナー

上山 昭治 様

(東京武蔵野中央 RC)

---

皆さん、こんばんは。先ほどから尾崎会長のご挨拶など伺っております、2年前の7月に最初に皆さんにお会いしてからのことを思い出しました。皆さん、改めまして創立一周年おめでとうございます。創立以来もう4、5人も入会なさった。素晴らしいです。最初はどうなることかなあと考えたものですが、こういう形を迎えられて本当に素晴らしいと思います。アドバイザーの牛島さん、大変でしたね。ご慰労、感謝申し上げます。今日は松坂ガバナーを始め私共もご案内頂きましてありがと

うございます。

今日私が卓話の指名という機会を与えて頂き、感謝申し上げます。今日は早くビールを飲みたいことですし、手短かに致します。

私もロータリーのことはよくわかりません。詳しいことは松坂ガバナーに聞いてください。ただ、ロータリーとは何ですか？と聞かれますと、私にとっては人生を豊かにしてくれた存在と思っております。おかげさまで、ロータリーに入会して33年になりますが、多くの方と出会いました。それが私にとっては最大のロータリーモーメント、財産かなと思っております。そのことについてお話させていただきます。どうぞ聞き流してください。



今日お手元に私がガバナーの時のガバナー月信をお配りしました。毎月原稿に追われて、苦勞して全部自分で書きました。ある時は沖縄公式訪問中に催促されて、沖縄のホテルから朝までかかって書いて送りました。今は松坂ガバナー、去年は吉田雅俊ガバナーも大変だったと思います。私のガバ

ナー年度、2016-17年度のモットーは「出会いを大切に」です。ガバナー月信からこのことについて書かれている部分を抽出してお配りしました。そこにも書きましたが、いろいろな方との出会いについてお話させていただきます。

私は東京武蔵野中央ロータリークラブの会員です。吉祥寺に例会場がございます。そこに入会したのが1986年2月。おかげさまで、以来33年間皆出席です。別に意識してではなく、結果として皆出席になりました。きっかけは仕事の先輩から「どうせどこかで昼飯食うんだろ？」と誘われたことです。正直ロータリーのことは何も知らずに入会しました。私の最初の印象は、例会で名札を付けて歌を歌ったり、食事をしたり、まるで大人の幼稚園のようだと思いました。ただ、良かったな、と思ったのは毎週卓話でいろいろな方のお話が聞けたことです。それがだんだんと楽しみにになりました。

最初の印象的な「出会い」は、私の入った東京武蔵野中央RCの初代・二代会長を務めた武部啓先生です。武部先生は当時亜細亜大学の学長でした。たまたま一緒のテーブルになることが多く、武部先生のご専門が生物だったことと、私が高校時代生物部の部長だったこともあり、いろいろなお話をしてくださいました。よく言われたのが、「ロータリーで役を頼まれたらそれは天の声だと思いなさい。断ってはいけないよ。それは天使の声なんだから」ということです。それからは、何か頼まれると武部先生のお言葉を思い出して断らないようにしていました。本当に素晴らしい先生で、その中で印象に残っているのは、当時の亜細亜大学は野球が強く、後に近鉄にドラフト1位で入団した阿波野秀幸という選手の話をして下さいました。阿波野選手は横浜出身、家庭の事情で東京周辺のプロ野球球団を希望していたのですが、近鉄バッファローズから一位指名されてしまった。大変迷って断ろうかと思って武部先生のところに相談に来た。

武部先生は「プロ野球はどこでやっても同じ。せっかく一位指名されたのだから、近鉄に行きなさい」と言われたそうです。野球好きの方はご存知の通り、阿波野選手は入団一年目に新人王になり、今年中日ドラゴンズのコーチになります（中日の与田剛監督も亜細亜大学ですね）。なかなかそんなお話は聞けないものです。ロータリーならではですね。武部先生のおかげで私もロータリーが続いたのかな、と思っております。

特別熱心な会員ではなかった私が会長になったのは、入会して18年目の2004年です。私のクラブでは会長は入会順、年齢順です。いつか私も会長になるのだろうと思ってはいました。ロータリーは単年度制ですから、会長はいろいろな人がやっても所詮一年です。その、会長になった時に、うちのクラブがたまたま地区研修協議会のホストクラブだったので、準備に追われました。その時のガバナーエレクトが東京東ロータリークラブの古宮誠一さんで、その例会に私も打ち合わせで何回かお邪魔しました。すると、たまたま第15代千玄室さんと隣り合わせになり、クラブ親睦旅行で京都に行くお話をしました。「ならば、うちに寄りませんか？」と誘われ、なんと京都の今日庵をお訪ねすることが出来ました。お茶をなさっている方はご存知でしょうが、普通の人になかなか入れるところではございません。千玄室さんの秘書である小林さん（実はとても偉い方）を紹介して頂き、特別のお手配で、大徳寺などとても普通では入れないところも参観させて頂くことが出来ました。秀吉の怒りを買って市中引き回しになったという千利休の像も間近で見ることができました。今日庵に行けるのならと、入会を決めて下さった会員が出るほどでした。そのような貴重な経験をさせていただいたのもロータリーならではです。

私は2013-14年に武蔵野分区のガバナー補佐になったのですが、その時のガバナーが今日もいら

している吉田建二ガバナーでした。大変に厳しい方で、私共はこき使われました。そのガバナー補佐は、今日もお越しの松坂さんや土居さんなど6人です。厳しいガバナーから身を守るためにこの6人が結束しまして、おかげさまでとても仲が良くなりました。その6人の中では土居さんが級長で、とりまとめ役です。吉田ガバナーも見た目怖そうですが、大変に人情味があります。今はいい方に恵まれたと思っております。

私はガバナー指名を受けた時、本当に青天の霹靂でした。吉田建二ガバナーから食事に誘われてガバナー指名のお話が出た時、「冗談ではありません。私はガバナーなんてできません」と言いました。その時丁度地区大会の実行委員長就任のあいさつをしたばかりだったのです。それが2014年の1月。その直後の新年会で、何人かの人にガバナー指名の話がされました。なぜ知っているのか？どうも知らぬは本人ばかりだったらしいです。そのうえ「ならば地区大会の実行委員長を代えよう」という話まで出ていたのです。クラブからも「あなたがやらないと次回うちのクラブにガバナーの話が来るのは70年後だから」と言われ、外堀を埋められた形で断れなくなってしまいました。ところが今になってみると「いろいろな機会を与えて頂いたな」と思います。東京地区で59クラブ、沖縄で11クラブ、いろいろな方とお会い出来、各クラブで温かく迎えて下さいました。沖縄の宜野湾クラブでは30年物の泡盛を頂きました。水で割ったらだめだと言われ、その後ふらふらになりました。また、2580地区だけでなく、全国ガバナー会の議長も務めたため、同期のガバナーとも大変親しくなり、今でもお付き合いが続いています。私の妻も同期のガバナー夫人とLineでつながっていて、いろいろなことを知っています。本当に北海道から九州までいろいろな知り合いが出来た。これはロータリーに入ったからこそです。ですから、皆さんも丸の内の例会だけではなく、ぜひメイクアップに行かれてください。ロータリアンでしたら、ど

のクラブも歓迎してくれます。いろいろなクラブでいろいろな方と知り合ってください。きっと視野も広がります。メイクアップを活用しない手はないと思っております。

以上はロータリーの話ですが、番外で今日お配りした資料の中に、東京新聞の記事があります。私の高校時代からの友人である柳家さん喬という落語家が書いている記事です。師匠のことはガバナー月信にも書きました。大変お世話になっていて、私がガバナーの時に地区大会で落語をやってもらいました。先月も銀座ロータリークラブの卓話で落語を頼まれたらしいです。もしよろしければ、丸の内RCやお茶の水RCにもさん喬を呼んでいただければと思います。今弟子が11人いる大御所ですが、私を通していただければお友達価格で参ります。よろしく願います。

今日は余計なことも言いましたが、私のロータリーモーメント、ロータリーに入って良かったことについてお話いたしまして、私の卓話とさせて頂きます。皆様ご清聴ありがとうございました。

◆ 司会：古山会員

上山パストガバナー、ありがとうございました。まだ新しいクラブではありますけれども、ここからまた多くの新しい出会いが生まれる場になっていけばいいなと思いつつ伺っておりました。

◆ 閉会点鐘：尾崎会長

(議事録作成：事務局 桑原)

東京丸の内ロータリークラブ

創立一周年記念お食事会

2019年 3月 6日(水)

会場 センチュリーコート丸の内  
アカンサスノース・サウス・ルーム

◆ 司会： 嘉納 英樹 副会長

## ① ウェルカム・コンサート

事務局 桑原奈知子

◆ チェロ独奏

エルガー作曲 「愛の挨拶」

いずみたく作曲「見上げてごらん 夜の星を」



## ② 開会の挨拶

新クラブアドバイザー

牛島 聡 様

(東京お茶の水 RC)



皆様、こんばんは。お茶の水の牛島でございます。東京丸の内ロータリークラブの皆様、一周年おめでとうございます。お世話になった地区の方々、こんなにたくさんお越し頂きました。松坂ガバナー、本当にお忙しい時にありがとうございます。また、歴代のパストガバナーの皆様、本来ならばおひとりずつお名前を挙げて御礼すべきところですが、今日は本当にありがとうございます。

本日ご来賓いただきました地区の方々には、丸の内 RC 設立にあたって大変お世話になりました。

皆様にご尽力いただいたからこそ今日の丸の内ロータリークラブがあると思っております。お茶の水ロータリークラブは「親」と呼ばれる覚悟がないまま親クラブになるお話をお受けしました。今はお互い手を取り合いながら良いロータリークラブを作れたらな、と思っております。今後とも頑張ってみましょう。

早いもので一年経ちました。クラブアドバイザーとして私に何が出来ているかは甚だ疑問ではございますが、東京丸の内ロータリークラブでは肅々とクラブ運営が進んでおります。何を目標にしたらよいのか、恐らくわからないままの一年だったかと思えます。そんな中で尾崎会長、塩島幹事、悩みながら今日の日を迎えられたと思えます。私は月に一回は例会におじゃましております。その時にはにこにこしているのですが、実は理事の方達には大変厳しいことを一年間言ってみりました。それは、皆さんがとにもかくにも地区から注目されているクラブだからです。その自覚というものを会員の皆さんが持つて頂くことが大事だと思って、あえて理事の方達には厳しくしております。他のメンバーの方達には笑顔で接していただいて、何だかお茶の水よりも居心地が良いものですから、かといって月2回来ると嫌がられるので、月一回の参加にしております。

加盟認証状伝達式の時に、吉田建二パストガバナーが「100年の年輪の東京ロータリークラブと1年の年輪の東京丸の内ロータリークラブ。共に同じロータリアンである」というエールを送って頂きました。ありがとうございます。1年間過ごして、どうでしょう？このエールにお応え出来たでしょうか？やはり1年と100年は大きな差がございますけれども、同じロータリアンとして、目指すものは一つの思い。この思いをこれからの1年、そしてその次の一年、年輪として重ねていく。尾崎会長もおっしゃっていましたが、創立当時掲げたクラブの目指す道は明解に示されています。この道はクラブ一人ひとりの力があってこそ初め

て実現できるものです。ぜひぜひ一緒に頑張ってみましょう。私も陰ながらサポートさせていただきますので、一緒に歩んでまいりましょう。頑張ってみましょう！

---

### ③ ご祝辞

## RI 第2580地区ガバナー

松坂 順一 様

(東京葛飾東 RC)

---



東京葛飾東ロータリークラブの松坂順一です。東京丸の内ロータリークラブ、創立丸1年ですね。クラブが新しく出来そうだという話を聞いてからもう2年近くは経っていると思います。この2年間、尾崎会長と会員の皆様の設立の準備から今日

までの間、長かったのか短かったのか・・・きっと今思い出して、こみ上げてくるものがあるのではないかと思います。普通クラブが創立される時は、親クラブから数名が出て行ってクラブを創り、「ロータリークラブとはこういうものだよ」とお話ししながら始まっていくのですが、こちらにはそういうロータリアンがいない状態から始まったので、非常に難しい、新しいクラブの作り方だったなと思います。でも、1年経って非常に素晴らしい内容で奉仕活動をされている。私どもの地区では、非常に新しいタイプのクラブで、このようなクラブがどんどんできればいいと私自身思っております。昨年の12月にもう一つ新しいクラブが出来たのですが、ここは親クラブから数名出て元のクラブで会長をやった方がもう一度会長をやっている、という状態なので、非常にやり易いだろうなと思います。丸の内さんの中で、「ロータリーはどうやって始まったのだろう？」と疑問に思ったりする方が出てくると思いますが、そのようなことはほとんど先輩方を捕まえて聞いていただければと思います。

これからの発展はアドバイザーの牛島さんにかかっておりますので、どうぞ牛島さんを活用してください。お願い致します。今日は本当におめでとうございます。

---

## ④ ご祝辞

### パストガバナー

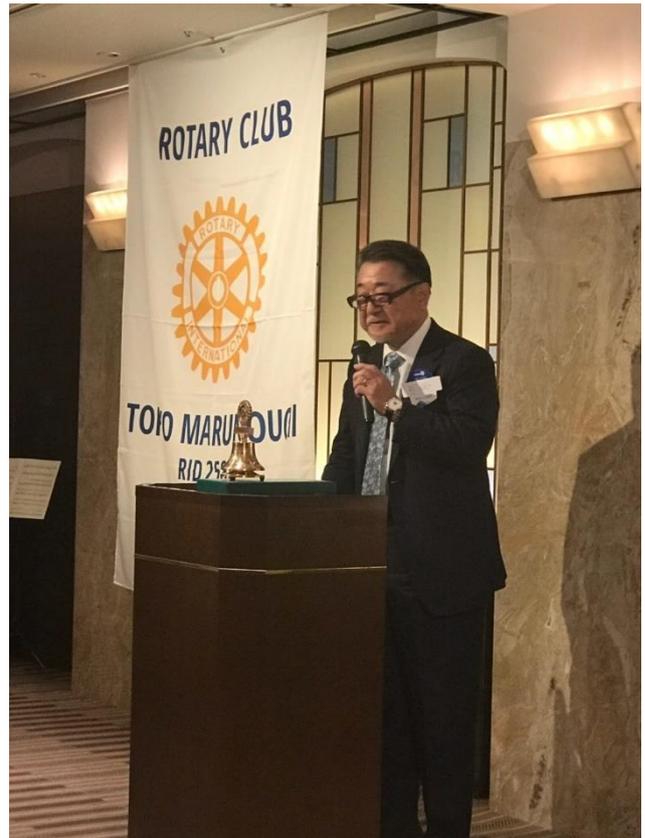
吉田 雅俊 様

(東京新都心 RC)

---

皆様、こんばんは。今日のことは随分前から伺っ

ていましたが、つい3日前くらいに尾崎会長から電話がかかってきて、「拡大増強について話をして頂きたい」とのことでした。私はちょうどこのクラブが誕生した時にガバナーだった、というご縁でございますので、一言祝辞を述べたいと思います。普通の祝辞ではつまらないと思いますので、「私がロータリーで考えていること、そして皆さんに期待すること」についてお話したいと思います。



1905年にシカゴでロータリークラブが出来たわけですがけれども、その時4人が集まって、事務所持ち回りでやりましょう、ということになったのは皆さんご存知の通りです。なぜそうなったかという、ちょうどその頃は産業革命の後で、蒸気機関が出来たことによって、汽車、汽船、様々な動力源が工場にも使われることになった。一気に世の中が変わった時だったのですね。それまでは、地域経済。今でも南アメリカなどでは、朝市に行きますと値段なんて出ていないですよ。皆さん共通の価値観があって、これは大体いくら、とわかっている。ところが、一気に経済圏が広がって、顔の見

えない人とお付き合いをするようになった。そうすると中にはうまいことやってやろうという人もいるでしょうし、そうでなくても、物に対する考え方とか、製品に対する完成度とか、様々な違いが出てくる。お互い上手いかない、そういうことが頻発した時代でした。シカゴの街は、東から西へと大移動の時、そして農産物の集積地でありますから、いろいろな意味で急激な変化があり、統一した基準がなかった。ロータリーが出来てから10～15年のうちにアメリカで工業基準が出来ました。日本やヨーロッパでも同じような時に出来ました。そういった統一基準がないうちに、お互いどういった信頼関係の下に仕事をしていくか、これはなかなか難しい。最初ロータリーはどちらかというところから始まった。クラブの中で記録があって、誰と誰の間でどういう仕事が出来た、ということをやっていました。今、ロータリーではあまり仕事の話をするなよと言っておりますが、果たしてそうなのか。丸の内ロータリークラブの23名のロータリアンの皆様、そしてこれから入ろうというお二人の方々、合わせて25名。このロータリアンの中でお互い信頼関係を築いてロータリー活動をし、また仕事の上でもお互い情報交換をしたり、助け合ったりしていただきたい。それがまた、仕事を通じてのロータリーのつながりが深まっていくことになるのではないかと思います。

男女比率でいくと、ここは23名中13名が女性、世界では約20%が女性、当地区では6%、私の東京新都心ロータリークラブではゼロでございます。そのようなことで、この丸の内ロータリークラブは他にない新しいクラブとして誕生したと思います。松坂ガバナーがおっしゃるように、このクラブは今までと出来方が違う。それはある意味白紙のキャンバスに23名の仲間がロータリークラブの絵を描いていくということです。そして現在71クラブのうち19クラブが30名以下です。30名以下ですと、なかなかロータリークラブと

しての活動がやりにくい。古いクラブになりますと、「俺は3回目の会長だ、4回目は断った」とか、そういうことになってしまいます。ぜひこのクラブも30名を達成して、本当の意味でのロータリーアンとしてのつながりを持って取り組んでもらいたい。

卓話の話が出ましたが、地区には卓話者リストがあります。当地区には3,040人会員がおりますが、その中には素晴らしい人がたくさんいらっしゃいます。そういう方をぜひ卓話に呼んでください。もちろんお礼をします。3万円です。すると大抵の人はそれをニコニコに返してくれます。ということで、ほとんどタダです。これがロータリーの良いところですから、それをぜひ活用して頂きたい。

先ほど言いました19クラブでは、ほとんどが60歳～70歳くらいです。ぜひ若い力でもってぜひ丸の内ロータリークラブは独創的なことをやって頂きたい。できればRI会長もやっていただきたい。すると誕生の時のガバナーとしては大変嬉しく思います。長くなりましたが、丸の内ロータリークラブのますますのご発展と、これから皆様が職業人としてもお互い助け合えるような素晴らしいクラブになることを祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます

---

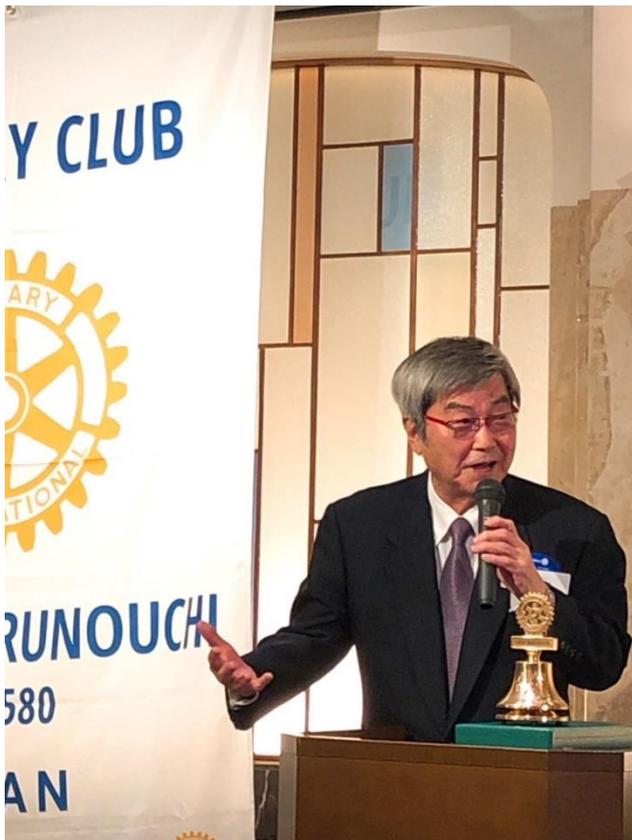
## ⑤ 乾杯

パストガバナー

吉田 建二 様

(東京田無 RC)

---



皆様、こんばんは。本当に今日はおめでとうございます。思えば一年前、オギャーと生れてから、こんなに成長して清々しい顔をしていらっしゃることに、関係者の一人として本当に嬉しく思っております。やはり、新しいクラブが出来るということは良いことですね。

私は尾崎さんから「乾杯だけ」と言われておりますが、2～3分だけ喋らせて頂きます。

昨年、尾崎丸が新しく出帆いたしました。いろいろな面で不安があったと思いますが、1年間がむしろ皆が一致団結してやっていこうということだったと思います。ところが、人間、余裕を持つとつまらないことを考えだすのです。クリーンな気持ちを持ったロータリーといえども、それぞれあって、それでもクリアできるのがロータリーです。もめても何しても1年間、みんなで苦労したなあと、その思い出話が自分の魂の中にあると、苦しい時はそれを思い出す。私は82歳ですからこの中で一番年長ですが、今だに入会した時の気持ちは少年のようです。ロータリーだけがこのような

気持ちを味わわせてくれます。この後2年、3年、経つと段々智恵がついてくる。知識を智恵に変える、それがロータリアンです。本当に楽しいロータリーライフを、ということで、僭越ではありますが、乾杯の音頭を取らせていただきます。

本日めでたく一周年を迎えましたこと、嬉しく思います。東京丸の内ロータリークラブがますます安定し、仲間意識を固めながら素晴らしいクラブになりますように祈念し、皆様のご健勝と、ロータリーのますますの繁栄を願いながら、大きな声で乾杯させていただきます。

丸の内、おめでとうございます。乾杯！

---

## ⑥ ミニコンサート

歌：水沢 亨 様

(土居 岩生 様)

(東京お茶の水 RC)

---

- ・河島英五 作詞作曲 「酒と泪と男と女」
- ・小路真耶作詞、九龍水佳作曲「夢千鳥」





---

## ⑦ ご祝辞

パストガバナー

鈴木 孝雄 様

(東京池袋 RC)

---



伝統ある東京ロータリークラブの会員数が 330 名を超えるクラブであるに比べて、最近創立した東京丸の内ロータリークラブは、大変お若いクラブ、ましてや女性が 5 割を超えている。我がクラブはたった 3 名です。そういう意味では本当に羨ましい。尾崎会長や当時の地区拡大増強委員長である上山パストガバナーはご苦労なさいと思います。東京ロータリークラブと新しいこの東京丸の内ロータリークラブ、その差をうまく利用してやって行って欲しい。尾崎さん、よろしくお願いします。

今後は青少年交換もぜひ協力してください。我々は皆さんみたいな若い方を頼りにしているわけですが、これから先はそのまた若い方にロータリーをつなげていただかないと続きません。

職業奉仕についていろいろ言われていますが、皆さん、バッジをつけていますでしょうか？外すことはありますか？私は入会 3 年目くらいまでは、例会が終わると外していました。それは、当時、同級生のお父様がいらしたくらい立派な方が多かったので、自分がつけてはまずいと思ったからです。でも、付けていられるようになったのは、ロータリーに誇りが持てるようになった時です。こんなに高い理想でもって僕らは動いているんだと。それが職業奉仕。それを皆さんに広めるべきだ、ということに合点がいった時、初めてバッジを付けていられるようになりました。バッジに恥じない行動を、皆さん心掛けて下さい。ぜひ丸の内さんが、これまでとは違った形で新しくロータリーを創っていただければ、私としては大変幸せです。

今日は本当におめでとうございました。

---

## ⑧ 一周年記念ビデオ上映

制作：早野 海兵 会員

---

## ⑨ 閉会の挨拶

### 塩島 由晃 幹事



本日は、東京丸の内ロータリークラブ、創立一周年記念 例会ならびに食事会に、ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。

また、本日は、松坂ガバナーをはじめ、多くのパストガバナー、そうそうたるメンバーにご出席いただきまして、会員一同、大変嬉しく思っております。本当にありがとうございます。

そして、初めての周年記念を迎えることができたこと、これもすべて皆様のご協力の賜物だと思っております。この場を借りて、お礼申し上げます。

さて、創立一周年を迎え、当クラブの奉仕活動も、徐々にではございますが、一步ずつ歩みを進めております。しかし、まだまだ経験の浅い当クラブは、ここにいる皆様のご協力が必要です。今後とも、何とぞ、宜しくお願い致します。

また、当クラブの会員は、現役世代で構成されて

おり、仕事と奉仕活動の両立が必要で、重要となりますが、今後とも、引き続き、会員一人一人が努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

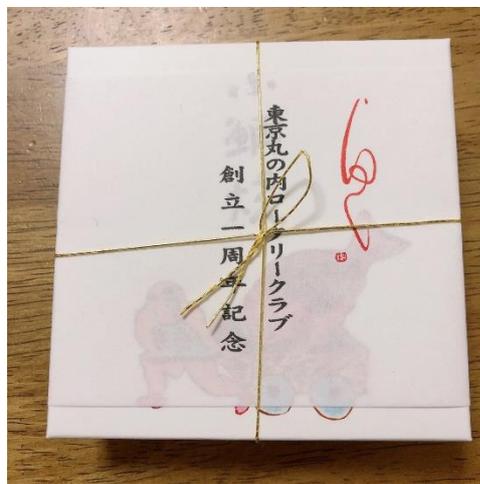
また、当クラブで大変お世話になっている事務局の桑原さんにもこの場を借りて感謝申し上げたいと思っております。どうもありがとうございます。

最後となりますが、皆様の更なるご健勝とご活躍を祈願しつつ、簡単ではございますが、私の閉会のあいさつとさせていただきます。

本日は、長い時間、本当にありがとうございました。

◆ ロータリーソング  
「手に手つないで」

◆ 集合写真撮影



(議事録作成 事務局 桑原)